

絶賛好評中シリーズ 第3弾!!

オフィス用回転椅子 -安定性、強度及び耐久性の試験方法-



ボーケンでは「JIS S 1206 オフィス用回転椅子」の試験を実施しております。
これまでボーケントピックNo.203とNo.209で「JIS S 1206オフィス用回転椅子」について取り上げました。どちらもご好評を承り、この度、満を持して第3弾を発行させていただきました！
今回は「座面及び背もたれの耐久性試験」を紹介いたします。

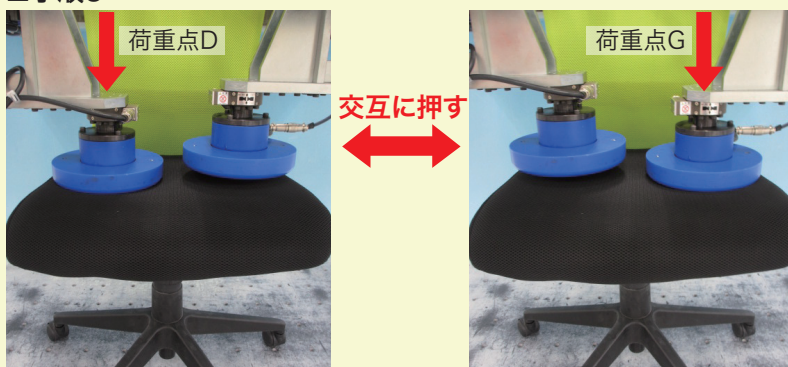
再発見！試験機 JIS S 1206

座面及び背もたれの耐久性試験

試験方法

すべての椅子は手順1～5によって実施する。手順1～4は、背もたれ及び座面を同時に繰り返し押す。手順5は、荷重点DとGを交互に押す。
座面及び背もたれの可傾に対するロック装置を備えた椅子は手順2に従い、前半のサイクル数(附属書JA:20000回、附属書A:40000回)を、装置をロックして試験し、次に後半のサイクル数(附属書JA:20000回、附属書A:40000回)を、装置をロックしないで試験を行う。背もたれ位置は前半のサイクル数では直立位置とする。手順3、4、5では、機構が自由に動くように設定しなければならない。

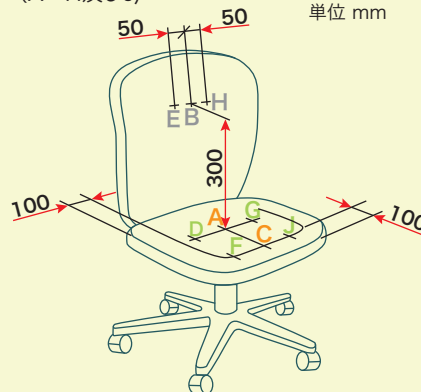
■手順5



■使用する当て板

当て板	荷重点
背もたれ	B、E、H
座面	A、C
小型座面	D、G、F、J

■荷重点 (A～H及びJ)



■試験順序及び推奨力、サイクル数 (附属書JA、附属書Aによる)

手順	荷重点	力(N)		サイクル	
		附属書JA	附属書A	附属書JA	附属書A
1	A	1250	1500	60000	120000
2	C	1000	1200	40000	80000
	B	320	320		
3※	J	1000	1200	10000	20000
	E	320	320		
4※	F	1000	1200	10000	20000
	H	320	320		
5	D・G(交互)	900	1100	10000	20000

※広州、ホーチミンにて対応可能

☆ボーケンで実施可能なJIS S 1206の試験

※一部のみ実施

前縁安定性	肘掛けのない椅子の側方安定性	背もたれ傾斜機能付き椅子の後方安定性	肘掛けの中心垂直力静荷重試験	足掛けの静荷重試験	足掛けの耐久性試験
前方安定性	肘掛け付き椅子の側方安定性	座面前縁の静荷重試験	肘掛けの前方垂直力静荷重試験	座面及び背もたれの耐久性試験※	キャスター及び椅子の脚羽根の耐久性試験
足掛け付き椅子の前方安定性	背もたれ傾斜機能のない椅子の後方安定性	座面及び背もたれの複合静荷重試験	肘掛けの側方静荷重試験	肘掛けの耐久性試験	(全17項目)

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京生活用品試験センター | TEL:03-5669-1382 / FAX:03-5669-1387
大阪生活用品試験センター | TEL:06-6577-0124 / FAX:06-6577-0126

